

須走道路・御殿場バイパス（西区間）

発注者 中部地方整備局 沼津河川国道事務所 受注者 渡邊工業株式会社



良知 秀紀

2016年入社の3年目です。

☆仕事のやりがい

建設業は大きなスケールのモノづくりができる仕事です。それぞれの現場では工事環境が違ふことから様々な施工方法及び管理方法を考えます。そして、作業工程も含め材料の手配など、計画を立て、その現場に合う方法を発注者並びに協力業者の方と検討や調整しながら現場を施工していきます。そうして現場が完成した時、達成感と最高のやりがいを感じます。モノづくりを通じて誇れる仕事ができ、そこに特別な喜びを感じ、自らの成長を実感できます。自分で作った工作物が将来残せるという大きなプロジェクトに挑戦でき、誇れる仕事だと思います。

工事概要

国道13号須走道路・御殿場バイパス（西区間）は、山梨県富士五湖地域と静岡県東部地域、神奈川県西部地域を結び、生活や経済活動、広域観光を支える役割を担うとともに国道13号の渋滞の緩和、交通事故の削減、災害時の道路ネットワークの確保を目的とした道路です。本工事は、静岡県御殿場市仁杉地先において、橋脚と橋台を構築する工事です。現在、橋梁の下部工(基礎、柱になる部分)を作っている状況をご覧になれます。

下部工の鉄筋組立作業



須走道路・御殿場バイパス完成イメージ



箱根から山梨県側を望む

